

2018年1月25日
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

地方自治体向けの防災・減災費用保険の展開が 第3回サステナブルファイナンス大賞で「優秀賞」を受賞

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）の地方自治体向けの防災・減災費用保険の展開が、第3回サステナブルファイナンス大賞の「優秀賞」を受賞しました。

1. 地方自治体向けの防災・減災費用保険の概要

防災・減災費用保険とは、全国の自治体を対象に、自然災害時の避難にかかる自治体の負担費用を補償する保険商品です。自然災害が増加するなか、自治体は住民の安全を守るため、迅速かつ適切な避難勧告の発令が求められています。このような環境に適応し、損害が発生する前に自治体が負担する予防的費用を補償する世界初の商品として、2017年4月に全国市長会、5月に全国町村会の制度に採用され、提供を開始しました。保険料は国によって一部負担がされており、各自治体から注目されています。

2. サステナブルファイナンス大賞について

サステナブルファイナンス大賞とは、環境問題を金融的手法で解決する「環境金融」の普及・啓蒙活動を展開する一般社団法人環境金融研究機構（RIEF）が、2015年から始めた表彰制度です。環境保全を軸にサステナビリティ要因を踏まえた資金供給や、環境金融商品・サービス・取り組みを展開する金融機関等を表彰対象としています。

3. 今後の展開

損保ジャパン日本興亜は、今後も増加が予想される自然災害に直面する全国の自治体に対して、本保険制度を国・全国市長会・全国町村会と連携し普及することで、暮らしの安心・安全・健康に貢献していきます。また、このような取り組みを通じて、サステナブルな社会の実現に積極的に関与しながら、持続可能な成長を目指していきます。

2018年1月24日に行われた受賞式の様子



(左) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
企画開発部長 秋保宏之

(右) 一般社団法人環境金融研究機構
代表理事 藤井良広 氏

以上